



# 善正寺だより

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:059-331-1670  
fax:059-332-0733

掲示板法話

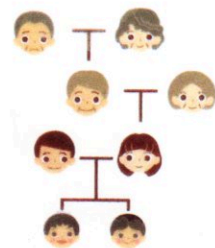
## 限りなく つながり合う命

## 合掌し、温もりを賜る命よ有難う

先日、家族みんなが集まり本堂でお勤めをする機会ができました。その席で幼い孫たち向けに「いのちの不思議」という話をしました。

「今日は、みんな集まって一緒に正信偈のお勤めをしてくれてありがとう。君たちはお父さん、お母さんの子供に生まれてきました。そのお父さん、お母さんの前におじいさん、おばあさんが合せて4人います。その前に曾祖父、曾祖母が8人います。その前にも曾々祖父、曾々祖母が16人、その前にも32人、という具合に足し算すると、10代さかのぼると2046人になります。30代までさかのぼると何と21億人以上になります。その中のどの一人がいなくても今日の私の命はありませんね。」

「数字の位取りで、一、十、百、千、万、十万、百万、千万、一億、十億、百億、千億、一兆、十兆、百兆、千兆と順番にさかのぼると、阿弥陀という位ができてきます。南無阿弥陀仏とお念仏称えるのは、沢山の数えきれないような命よ、有難うという意味があるのです。沢山の



のご先祖様からつながり、この世に生まれさせて頂いたこの私たちはかけがえない、尊い命です。どうか、皆さんこの命お互いに、大切に生きましょうね」という話を、幼い孫までもじつと聞き入ってくれました。

「南無阿弥陀仏をとなふれば 十方無量の諸仏は 百重千重圍繞して よろこびまもりたまふなり」(浄土和讃・現世利益讃)と親鸞様は詠まれました。意識すれば、「お念仏を称えると十方世界の数限りないみ仏さま方が百重千重に念仏者を取り囲んで、喜び、お護り下さっている」という訳です。

今日、いじめにあつたとか、つまづいた、自分の事誰も分かつてくれない、とかで心の病になる人が増えているそうです。だが、よくよく考え直してみれば、我々は一人一人数えきれないほどの命のつながりを頂いてこの世に生まれ、血のつながりだけでなく、動物、植物や自然環境のつながりのお蔭の中で生かされている存在ですね。決して孤独ではない、「おかげ様のいのち」ですね。合掌し、お念仏申す、その両手に温

### ☆行事ご案内☆

#### 6月の門信徒会例会

6月16日(日)午前8時半

原則として第3日曜日の朝8時半



#### ◇三重組仏教講習会

6月14日(金)午後2時 in 善正寺

講師 中川大城師(奈良)



15日(土) 午前: 暁覚寺 午後: 光徳寺

夕方5時の鐘撞、年中無休、50年継続、誰でもOK  
ご褒美にガム・チョコ、合掌出来る子供を育てよう

一縁会テレホン法話 TEL059-354-1454 20冊目の法話集  
発行三重組5か寺の住職らが週替わりで担当、3分法話  
善正寺ホームページ、右QRコードを読み取り検索して  
下さい。過去20年分の寺報閲覧可、毎日更新のブログ  
住職と坊守のつれづれ日記が大好評! 16年10ヶ月  
で43万6千人訪問、1日平均80人訪問、悩み相談可  
新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を  
法事場所法事場所でお困りの方本堂使用可日時相談  
新法縁廟 境内に倶会一処の共同石室を建立、記名碑有



善正寺  
ホームページ



住職と坊守の  
つれづれ日記



もりを頂きつつ、かけがえのなき一日、  
一日を「ありがとう」と生き抜きましょ

#### 写真アラカルト



### ぼうもり 坊守スケッチ

## 『一日千秋』の免許更新



住職が運転免許の更新が出来ずに、約5か月間、私が代行運転をした。誕生日のずっと前から高齢者講習(認知症テスト)を受講して備えていた。本人はこの調子で、視力検査もパスすると予想していた。

しかし何度視力テストをしても、必要最低限の0.7が見えなかった。原因は白内障の進行。かかりつけ医に相談すると「あなたの目は、赤ん坊の時に胎毒が目に入り、終戦直後に角膜の手術をした。今まで見えていたのは幸いだが、高齢になって白内障が進んだ。一般の患者は、日帰りで町医者でも手術可能だが、あなたの場合は角膜専門医がいる大病院で手術した方がいい。今から紹介状を書くからすぐに受診して下さい」と言われた。

さあ、大変！本人も家族もビックリした。更新期限の誕生日は迫っている。

早速大病院を受診したが、診察室は、住職よりも深刻な重症患者で溢れている。先生に事情をお話したら「一番早い手術日でも3ヶ月先」と言われた。その間何度も検査で大病院へ通った。免許更新者に特殊な事情がある場合は、更新が6ヶ月猶予されることもその時初めて知った。手術日は1月末に決定。手術は予想外に簡単で、予定より一日早く退院できた。手術後の初めての診察で「ウーン瞳孔が予想外に開いていませんね」の一言に、「エッ、この手術は失敗したのか?」とお

先真っ暗！しかしその後の診察では「徐々に快復しています。しかし免許更新できる視力が回復するのは、期限間際になるでしょう」。患者は医者 of 微妙な一言でも一喜一憂する。

「0.7が見えるようになったら、すぐ眼鏡を作成して津の免許更新センターで即日公布してもらおう」と、住職は意気込んだ。住職が運転できなかった約5か月間、私や息子夫婦が運転代理を勤めた。様々な苦勞もあつたが、私達にとつても家族が協力すれば、どんな苦勞も乗り越えられるという貴重な体験をさせて頂いた。「一日千秋」の5か月間だったが、今後は以前よりも何倍も慎重になって、安全運転を心がけて頂きたい。

### ホットニュース

先月20日の三全仏婦主催『初参式』には7名の赤ちゃんが受式。中には赤ちゃん一人に若い両親、祖父母、曾祖母の5名の大人を連れてご参拝。若いパパも25年前に受式。親子四代揃つての尊い仏縁に感謝しています。

### カンパありがとう

閑崎敦子様、小西あき枝様、前川美也子様、TS様他、感謝申し上げます。

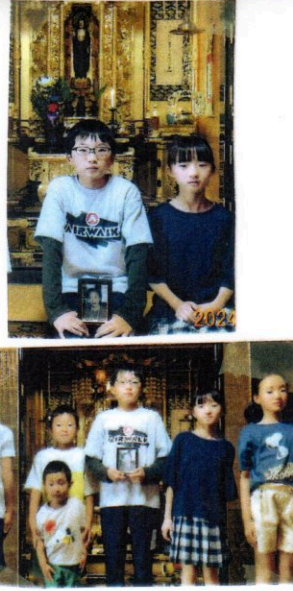
### 若坊守のことと日記No.1-3

中学生になった長男を、最寄り駅や雨天時など学校まで車で送迎しています。通勤・通学の時間帯ですから、いつも以上に慎重で余裕をもつた運転を心がけています。

長男を降ろし、駅から自宅への道のりは小学生の登校時間と重なります。交通量の多い狭い道の交差点には保護者や見守り隊の方が黄色い旗を持ち、見守られて集団登校していきます。地域の方に支えてもらっていることを改めて感じます。

見ていてハラハラしたのは、自転車の高校生です。すれ違うために一時停止している車を無理やり追い越していく子がいて、ヒヤリとしました。もちろん道路では車が優先ではありませんから、お互いに譲り合う気持ちが必要で

夕方には、仕事帰りの方が駅に向かって続々歩いてきます。おそらく外国人らしき女性の職業は何かと、と車内から人間観察をすることもあります。長男は新しい環境に少し慣れ、楽しいことも見つけました。如何せん真面目な性格なので、頑張り過ぎずのんびりとやって欲しいものです。



### 俳壇

夜桜や提灯並び天に浮く 釋妙水  
タンク背に噴霧機押すや昼の蝶  
ネギ坊主だけの一品夕餉かな 釋榮邦

山椿散花足元照らしけり  
万緑に埋れし御堂古簾木  
切干や甘味たつぷり膳の上 釋住安  
雪だるまお日さまきらいなみだ顔  
プランター春花寄せて赤白黄  
満車の動物病院こどもの日 YM  
メーカー旗吾の青春の御堂筋

ぼうたんの咲いてくれしのLINEかな  
鯉織り尻尾で屋根の掃除して TS  
豌豆のさみどり旨し莢も実も  
摘まねども手遊び唄に茶の香り  
白苺おいしいと食み君逝けり 釋妙玉  
おぼろ夜に確かな調声六年生  
春の暮砂場に作りかけの山 釋秀龍  
花影のカフェよ扉のベルの音よ  
春の駅まだゆるゆるの腕時計

花嵐地面は花の絨毯に 釋清風  
田水張り蛙の合唱朗らかに  
目薬の頬に流れり菜種梅雨  
☆ 編集子より ☆  
「善正寺だより」366号をお届けします。◇「俳壇」の中の一句「おぼろ夜に確かな調声六年生」は母親が44歳で往生なさった家の臨終勤行の次第を詠まれた法句。悲しみを抱いた少女が仏前に向かう光景に涙を誘われるが、この子は仏さまに導かれ悲しみを超えて生き抜いていけるだろうとお念仏申す次第です。南無阿弥陀仏。

住職は5ヶ月ぶりに運転免許の更新が出来て闇から光  
が射したように大喜びですが、逆に私は心配です。「5ヶ月も運  
転していなかつたのだから、運転の勘が鈍つて事故を起こさ  
ないかしら?」スピードは控えめにして、絶対にアクセルとブレー  
キを踏み間違えないうえに念を押しました。私も近々  
後期高齢者講習を受けますが、自分の事は棚に上  
げています。お互いに今まで無事故だったことが有難  
いという気持ちを忘れていません。私と同世代の人達はぼ  
つぼつ運転免許を返上してはいますが、お寺には運転  
免許が必需品です。今しはらくは安全運転に心掛け  
て運転免許証を保持したいと思ひます。ところで以前  
にも登場しましたが、幸せのハピフへホロという分り易い格  
言を再度紹介します。幸せになるためには、「ハ」は半分で  
いい。「ヒ」は人並でいい。「フ」は普通でいい。「へ」は平凡でい  
い。「ホ」は程々でいい。とかく人間は欲張り過ぎて、人並み  
以上の幸せを求めます。しかしいくら頑張ってもいい目を  
しても、所詮限られた命と時間です。人並み以上の幸  
せは羨望の的になり、時には他人の恨みを買います。  
自分だけがいい目をするのではなく、困っている誰かと分  
から合えば、幸せが何倍にもなつて大きな喜びにな  
ります。人生百年時代、残された時間と命を、自分の  
殻に閉じこもらずに、多くのお念仏の友と出会える喜  
びを分ち合ひたいと思ひます。6月14日午後2時「三  
重組仏教講習会」せひお参り下さいませ。合掌  
令和六年六月 善正寺坊守 拜